

Unit6 A Speech about My Brother

令和4年11月11日(金) 5校時 1年2組教室 1年2組22名(男子12名 女子10名)

1 単元について

- 本単元は中学校学習指導要領「(4) 話すこと[発表]」の内容に基づき、設定した。中学校学習指導要領には次のように記されている。

(4) 話すこと [発表] 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

(1) 単元観

本単元は、登場人物の朝美がスピーチでフィリピンのセブ島にいる兄について紹介し、そのスピーチを聞いた海斗が質問をして、フィリピンの食べ物についてやり取りをする内容になっている。言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文とその応答が扱われる。日本語とは違って人称によって動詞の形が変化し、しかもその変化は既習の過去形とは異なり、意味の変化をとまなわないため、生徒にとって習得するのが難しい言語材料である。また、第三者について英語で表現する際に、be 動詞を用いた表現(He/She is ～)は既習だが、一般動詞を用いたものは初出である。これまでは自分と相手を中心だったが、生徒は第三者について具体的に表現することができるようになり、話題に広がりをもたらすことができるようになる。

内容については、登場人物が兄を紹介する場面と、異なる文化の他者に対して食べ物や言葉についてのやり取りをする場面が挙げられている。兄を紹介する場面では、登場人物は写真を使用したり、相手にとって分かりやすい順番で情報を伝えたり、I enjoy his blog very much.のように兄の習慣や様子に対する自身の感想を付け加えたりするなど、相手意識をもって英語を表現する工夫がされている。異文化の食べ物や言葉についてのやり取りの場面では、He likes *sinigang*. It's a sour soup.のように、相手にとってなじみのない単語や情報の場合は、それがどのようなものであるか説明を付け加えたり、It means "mix."のように、言葉の意味を説明したりしている。生徒は英語学習をしていくなかで、異なる文化を持つ他者に対して何かを紹介したり説明したりする際に、意識しなければならないことはどのようなことなのかを学ぶことができ、より本質的な問いに迫ることができる単元であるといえる。

(2) 生徒観

事前アンケート(令和4年10月6日実施 21名回答、欠席1名)の結果は次の通りである。

質問	結果
英語の授業が好きである。	94.9%
英語で話すことが好きである。	82.1%
単語や文を正確に読んだり書いたりすることができる。	48.8%
自分のことや相手のことを伝えることができる。	41.5%

英語の授業が好きな生徒や、英語で話すことが好きな生徒は8割を超えているが、英語を正確に読んだり、自分や相手のことを伝えることに苦手意識を持っている生徒の割合は約4割と比較的高い。本単元で学習するうえで必要な一般動詞の小テストでは、5割以下の正答率の生徒が約3割であった。また、「英語で何かを紹介するときに、どのようなことに気をつけたいか」という問いには、「発音やジェスチャー」と回答した生徒が8割で、「分からない」と回答した生徒が2割であった。外国語によるコミュニケーションにおいて、相手意識をもって表現することを考えさせる余地があると言える。

(3) 指導観

指導に当たっては、言語使用の目的・場面・状況を明確にすることで相手意識を持たせ、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせた深い学びを促す。具体的には、単元を貫く課題として、ALTの先生に瀬戸田中学校の先生を紹介するという活動を設定し、英語を使用する活動に必然性を持たせるとともに、言語材料である三単現のsの特徴を、言語活動を通して定着させる。そのなかで、中学校の先生にインタビューをしたり、ALTの先生の前で、写真を使いながら英語で表現したりしながら、体験的な学習を充実させていく。

また、クロームブックで映像を録画し、客観的に自身の英語を振り返らせることで、相手の立場に立って英語を表現できているか、生徒一人一人が相手意識について考えることができる時間を確保していきたい。

(4) 単元の目標

- 三単現の s の特徴やきまりに関する事項を理解することができる。【ア. 知識・技能】
- 三単現の s を活用して、人の好きなことや習慣について伝えることができる。【ア. 知識・技能】
- ALT の先生に瀬戸田中学校の先生を紹介するために、先生たちの好きなことや習慣について、情報を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。【イ. 思考・判断・表現】
- ALT の先生に瀬戸田中学校の先生を紹介するために、先生たちの好きなことや習慣について、情報を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。【ウ. 主体的に学習に取り組む態度】

(5) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、次の資質・能力の育成に重点を置いている。

①言語・数量・情報 ②問題解決力 ③情報活用力 ④コミュニケーション能力 ⑤主体性・協調性

本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置く。

③ 情報活用力

本単元では、瀬戸田中学校に去年赴任したばかりの ALT の先生に、瀬戸田中学校の先生について英語で分かりやすく紹介する活動に向けて、先生たちについて収集した情報を取捨選択したり、並べかえたりすることを通して、分かりやすく表現することを目標としており、知識の定着と情報活用力の育成を図る。

④ コミュニケーション能力

瀬戸田中学校の先生について英語で分かりやすく紹介するためには、どのようなことに気をつけたら良いのか、また、生徒自身をなじみのないものに触れさせ、それを理解するためにはどんな説明があると良いのか考えさせることで、言語材料とコミュニケーションにおいて大切なことを関連付けながら課題に取り組ませたい。

(6) 本質的な問い

- 外国語によるコミュニケーションでは、どのように相手を意識することが大切なのだろう。

(7) 単元を貫く問い

- 異なる文化を持つ他者に何かを紹介する時に大切なことは、何だろう。

(8) 個別の問い

- 異なる文化を持つ他者に何かを紹介するときには、どのような情報が必要なのだろう。
- 人を紹介したり、その人の魅力を伝えたりするにはどのような伝え方が大切なのだろう。

2 単元の評価規準

観点	ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 三単現の s の特徴やきまりを理解している。 ② 瀬戸田中学校の先生について、事実や自分の考えを整理し、三単現の s などの簡単な語句や文を用いて発表する技能を身につけている。	① ALT の先生に「知ることができてよかった」と思ってもらえるように、瀬戸田中学校の先生について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表している。	① ALT の先生に「知ることができてよかった」と思ってもらえるように、瀬戸田中学校の先生について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。

3 指導計画（9時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点（○） 予想される生徒の反応（・）	評価規準 【観点】（評価方法）
一	1	1. 課題意識を持ち、単元を貫く学習課題を確認する。	○ JTE と ALT の瀬戸田中学校の先生たちについての対話を大型 TV で見させる。 - ザック先生、中学校の先生のことあまり知らないんだね。 - 楳田先生のことでも、まだ知らないことがあるかもしれないね。 - 私たちが紹介しよう。 ○ 先生紹介ワークシートを配布しておき、単元末までに、情報を収集してくるよう伝える。	
		【単元を貫く課題】瀬戸田中学校の先生についてもっと知ってもらおう。		
		2. 本時の学習内容を確認する。		
		めあて：友達や家族の習慣や様子を紹介しよう。		
		3. 帯活動を行う。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。 ○ キャラクターや人物などの習慣や様子についての英文を聞かせ、誰なのか推測させる。 ○ 単元末で使う teach や like などの動詞を用いて、できるだけ多くの文を input させる。 ○ 話す練習をさせてから書く練習をさせる。 ○ 家族や友達について紹介する文を書かせる。	
4. 新出文法を学習する。				
5. 練習を行う。				
		6. 振り返りを行う。	○ 文の特徴やきまりを書かせる。	
二	2	1. 帯活動を行う。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。 ○ 人を紹介するときに、どんなことに気をつけるか交流させる。	
		2. 本時の学習内容を確認する。		
		めあて：朝美が兄を誰かに紹介するときに、気を付けているのはどんなことか理解しよう。		
		3. 教科書本文を理解する。	○ リスニングとデジタル教科書の写真を用いて概要を把握させ、Q&A で内容を理解させる。 ○ 三単現の s の文を見つけさせ、意味を考えさせる。 ○ 兄を紹介するときに、朝美がどんなことに気を付けているか、個人→ペア→グル	

		4. 振り返りを行う。	ープの順番で考えさせる。 ○ 一つ一つの英文について、一般的な情報とそうではない情報に分けさせ、情報の順序に気づかせる。 ○ 単元末で瀬戸田中学校の先生を紹介するときに、どんなことに気をつけたいか書かせる。	
三	3	1. 帯活動を行う。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。	
		2. 本時の学習内容を確認する。	めあて：友達や家族のしらないことを紹介しよう。	
三	3	3. 新出文法を学習する。	○ キャラクターや人物などについての「～しません」という英文を聞かせ、誰なのか推測させる。 ○ 第一時で紹介したキャラクターをできるだけ多く用いて、肯定文と否定文の違いに気づかせる。 ○ 単元末の課題を意識させるために、瀬戸田中学校の先生の「～しません」というような英文も用いる。 ○ 話す練習をさせてから書く練習をさせる。 ○ 第一時で紹介した友達や家族のことについて書かせる。	
		4. 練習する。	○ 文の特徴やきまりを書かせる。	
四	4	5. 振り返りを行う。	○ 文の特徴やきまりを書かせる。	
		1. 帯活動を行う。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。	
四	4	2. 本時の学習内容を確認する。	めあて：朝美の兄についての紹介の続きを読み取って、瀬戸田中学校の先生を紹介するときに役立てよう。	
		3. 教科書本文を理解する。	○ リスニングとデジタル教科書の写真を用いて概要を把握させ、Q&Aで内容を理解させる。 ○ does not の文を見つけさせ、意味を考えさせる。 ○ 兄についてさらに情報を加えて紹介しているときに、朝美が工夫していることはどんなことか共有させる。 ○ 発問や問い返しによって、「自分の感想を付け加えている」ことに気づかせる。	
四	4	4. 振り返りを行う。	○ 単元末で瀬戸田中学校の先生を紹介するときに、どんなことに気をつけたいか書	

			かせる。	
五	5	1. 帯活動を行う。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。	
		2. 本時の学習内容を確認する。	めあて：友達や家族についてたずねよう。	
六	6	3. 新出文法を学習する。	○ ALT と JTE の対話から、第三者について質問している英文を聞き取らせて、意味を推測させる。 ○ 第一時や第三時で推測させたキャラクターに関するやり取りを用いることによって、生徒にとっても意味や内容を推測しやすいようにする。	
		4. 練習する。	○ 友達や家族についてたずねたいことを書かせる。 ○ 話す練習をさせてから書く練習をさせる。 ○ 第一時や第三時で紹介した友達や家族のことについてたずねる文を書かせる。	
		5. 振り返りを行う。	○ 文の特徴やきまりを書かせる。	
六	6	1. 帯活動を行う。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。	
		2. 本時の学習内容を確認する。	○ フィリピンの食文化について知っていることを共有させる。 ○ JTE が訪れたことのある国の食文化についての発話を聞かせる。	
六	6	めあて：朝美と海斗の対話から、何かを紹介したり説明したりするときに大切なことは何か考えよう。		
		3. 教科書本文を理解する。	○ リスニングとデジタル教科書の写真を用いて概要を把握させ、Q&A で内容を理解させる。 ○ Does ～ ?の文を見つけさせ、意味を考えさせる。 ○ 生徒にとって、初めて聞くような、異文化の食事や言葉に関する英文を聞かせる。 ● I like Vollbier. ● She often drinks Clausthler. ○ 上記のような例文を聞かせたあとで、「何のことか分かったかな」と生徒に問い、どのようなものであるか説明する必然性について触れさせる。 ○ 上記の食事や言葉について説明する英文	

		5. 振り返りを行う。	を聞かせ、本文でそのような英文を見つけさせる。 ○ 単元末で瀬戸田中学校の先生を紹介するときに、どんなことに気をつけたいか書かせる。	
七	7	1. 帯活動を行う。 2. 本時の学習内容を確認する。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。 ○ 単元を貫く課題を再提示し、本時以降の学習活動の見通しを持たせる。	
		めあて：瀬戸田中学校の先生をザック先生に紹介するための英文を考えよう。		
		3. 紹介したい先生について情報を整理する。 4. 振り返りを行う。	○ どんな先生なのか、書く前に英語で会話させる。 ○ 先生の情報について、箇条書きで英文を書かせる。 ○ 前時で学習した、日本に特有の食べ物や文化について触れるときは、それを説明する必要があることを確認し、それらも英文にさせる。 ○ 紹介する際に、写真やICTを活用しても良いと伝え、必要であればその準備もさせる。 ○ 次時の授業で実際に紹介していくことを伝え、その際にどのようなことに気をつけたいかについて書かせる。	
八	8 (本時)	1. 帯活動を行う。 2. 本時の学習内容を確認する。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 基本的な表現を繰り返し練習させる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。	
		めあて：ザック先生に向けて、分かりやすく瀬戸田中学校の先生を紹介しよう。		
		3. 紹介スピーチのポイントを確認する。	○ 本時は目の前にALTの先生がいる想定で練習する時間であり、実際に紹介するのは、次回以降であることを伝える。 ○ 先生を紹介している教師の例を二つ見せ、第2時で学習したように、一般的な情報から先に伝えることが大切であることを再確認させる。 ○ 第4時で学習した内容を再提示し、自分の感想を付け加えることも大切であることを再確認する。 ○ 第7時で学習した内容を再提示し、異文化を持つ他者へ説明する際に気をつけることも再確認する。 ○ ペアで紹介する先生の情報を英語で交流	

		4. スピーチ文を作成する。 5. 振り返りを行う。	させる。 ○ 紹介したい先生の好きなことを3つ、英語で書かせる。 ○ 5文程度になるように、紹介スピーチ文を作らせる。 ○ JTE と ALT の会話の続きのビデオを視聴し、ザック先生はどのような情報を知りたいのか確認させる。 ○ 相手意識をもったスピーチのためにはどうすればよいか考えさせる。 ○ 振り返りを記入させる。	【イ①】 (ワークシート)
九	9	1. パフォーマンステストを行う。	○ 前時で気をつけたことを確認する。 ○ もう一度練習する時間を設ける。	【ア①】 【ア②】 【イ①】 【ウ①】 (発表) (振り返り)
後日		ペーパーテスト		【ア①】 【ア②】 【イ①】

4 本時の展開 (8／9時間)

(1) 本時の目標

ザック先生に向けて、瀬戸田中学校の先生の紹介スピーチを発表することができる。

(2) 観点別評価規準

イ①ALT の先生が「知ることができてよかった」と思ってもらえるように、瀬戸田中学校の先生について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表している。

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手だて (C)
ALT の先生が「知ることができてよかった」と思ってもらえるように情報を取捨選択し、話す順番やなじみのない単語などの説明などが大切であると理解し、自分の考えも交えながら紹介スピーチをしている。	瀬戸田中学校の先生を、紹介するために、差し障りのない程度の英文で話すことができています。	瀬戸田中学校の先生を、紹介するために、差し障りのない程度の英文で話すことができていない。
Hello、 Mr. Zach. Look at this picture. This is Mr. Yutani. He teaches P.E. He drives in HONDA STEPWGN. He likes Dragon Ball. You can talk about it.	Hello、 Mr. Zach. Look at this picture. This is Mr. Yutani. He likes making a handicraft. He live in Onomichi. He play baseball.	・例示した文を再び示すなど机間指導しながら紹介できるようにさせる。

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 (評価方法) 配慮を要する生徒への支援 (◆)
1. 帯活動を行う。 2. 本時の学習課題を確認する。	○ あいさつや簡単なゲームから英語を話す雰囲気を作る。 ○ 言語活動を通して、語彙や基本的な表現に慣れさせる。 ○ 文法事項や単語の復習をさせる。	
	めあて：ザック先生に向けて、分かりやすく瀬戸田中学校の先生を紹介しよう。 ○ 本時は目の前に ALT の先生がいる想定で練習する時間であり、実際に紹介するのは、次回以降であることを伝える。 ○ 先生を紹介している教師の例を二つ見せ、第2時で学習したように、一般的な情報から先に伝えることが大切であることを再確認させる。 - 名前や何を教えているかは先に伝えよう。 ○ 第4時で学習した内容を再提示し、自分の感想を付け加えることも大切であることを再確認する。 「彼の作品が好きなんだ」と伝えよう。 ○ 第7時で学習した内容を再提示し、異文化を持つ他者へ説明する際に気をつけることも再確認する。 - 分からないかもしれないところは、ゆっくり読んだり、説明したりしてあげよう。 ○ ペアで紹介する先生の情報を英語で交流させる。 Who is that? -He is ○○. What does he like? -He likes ○○. Where does he live? -He lives in ○○.	◆ どのように発表したら良いか、ゴールイメージを持たせる。 ◆ 紹介するうえで大切なことの3つは、視覚資料として板書しておく。 ◆ 話型を示す。短時間でも話す英語を考える時間を取ってから会話させる。
4. 情報を整理する。 瀬戸田シン キングタイム	○ 紹介したい先生の好きなことを3つ、英語で書かせる。 ○ 5文程度になるように、紹介スピーチ文を作らせる。 He is Mr. Yutani. He teaches P.E. He likes making a handicraft. He often goes fishing. He lives in Onomichi.	◆ 何名かに発表してもらい、動詞に s をつけることを確認し、次の活動の支援とする。

5. スピーチ文を作成する。	○ JTE と ALT の会話の続きのビデオを視聴し、ザック先生はどのような情報を知りたいのか確認させる。 ○ 相手意識をもったスピーチのためにはどうすればよいか考えさせる。 ・ まずは名前と何の教科を教えているか知りたいんだね。 ・ さっき作ったスピーチより、旅行の情報を入れたスピーチの方が興味を持って聞いてくれそう。 ・ 車が好きだから、どの車を運転しているか伝えると喜んでくれそう。 ・ アニメや旅行も好きだそうだよ。 ・ ○先生の好きなものを教えよう。 ○ 個人→ペアの順番でスピーチ文を再構成させる。 ○ 作ったスピーチ文を共有させる。 He is Mr. Yutani. He teaches P.E. He drives HONDA STEPWGN. He likes Dragon Ball. You can talk about it.	◆ 全体で確認したあと、クラスルームに動画をあげて、何度も見ることができるようにする。 ICT の活用 ◆ 机間指導し、よい工夫はフィードバックする。 ◆ 情報の順番、自分の感想、なじみのない単語の説明に気をつけることのできていない生徒は、黒板を確認させながら、支援をする。 【イ①】 (ワークシート)
6. 振り返りを行う。	○ 振り返りを記入させる。	
○ 「振り返り」の例 ・ ザック先生の立場に立って、英文の順番やどの情報を入れるべきか考えることができた。 ・ 今日のように、相手を意識する場面はたくさんあると思う。その際には、今日学んだようなことを生かしながらコミュニケーションをとってみたい。 ・ 自分の意見も取り入れることによって、その人への伝わり方が違う。相手に何かを伝えるときには、そのようなことを意識してみたい。		

※□囲みで示した活動が、本時におけるシンキングタイムである。

(4) 板書計画

めあて	ザック先生に向けて、分かりやすく瀬戸田中学校の先生を紹介しよう。
Communication Time	ザック先生に紹介するために気をつけたいこと
Review	① 情報の順序
Speech	② 自分の意見など
	③ なじみのない単語などの説明